

3. 社会貢献活動

◆ 三ツ星ベルトふれあい協議会の活動

◆ ふれあいイベントの開催

三ツ星ベルトグループは「住民と企業が共生するまちづくり」を進め、グループ従業員で構成されるボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、各地でイベントを開催してまいりました。2021年も昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催は困難な状況となりましたが、引き続き地域の皆さまとの交流を進めてまいります。

【神戸本社・事業所(神戸市長田区)】 たなばたまつり(7月)

地域に隣接する神戸市営地下鉄海岸線が2001年の7月7日に開通したことを祝って始まったたなばたまつり。綾部事業所がある京都府綾部市から笹の寄贈を受け、周辺道路は願い事が書かれた笹飾りで華やかに彩られます。会場内には地域住民や三ツ星ベルト従業員が思い思いに企画した数多くの屋台が軒を連ねます。



【東京本社(東京都中央区)】 ミュージックサロン(年2回不定期)

震災復興にあたって多くの方からサポートをいただいたお返しをしたいと、東京で入場無料のコンサートを開催しています。観客の音楽ファンのみならず、出演する若手の音楽家の皆さんには、一流のコンサートホールで演奏する機会として喜ばれています。



【四国工場(香川県さぬき市)】 さぬき手打ちうどんと地引網体験会(5月)

四国工場に隣接する海岸での地引網と、さぬきうどんの手打ち体験会を開催しています。神戸本社や綾部事業所からもバスを連ねて大勢参加し、普段できない貴重な体験が喜ばれています。



【綾部事業所(京都府綾部市)】 あゆのやな漁見学会(9月)

綾部市を流れる由良川で、期間を限って行われる伝統漁法“あゆのやな漁”を見学する会を開催しています。神戸本社や四国工場からもバスを連ねて参加し、川に仕掛けられた“やな”に打ち上げられて飛び跳ねるあゆを手づかみで捕まえようとする子どもたちの歓声が絶えません。



【“学校ビオトープ”の支援】

三ツ星ベルトふれあい協議会は、社員のボランティアで兵庫県下の教育施設に100ヶ所以上のビオトープ(生物生息空間の池)設置に協力しています。自然環境の保全是、事業継続の上で企業に求められる責任です。環境法令の順守にとどまらない、より積極的な取り組みが求められます。同協議会ではビオトープづくりに必要な当社製遮水ゴムシートを提供するなど、行政と協力し生物多様性の保全に取り組んでいます。



◆ 子どもたちの未来を応援する活動

【日本ユニセフ協会への寄付金贈呈】

「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子どもたちへの支援活動を行っています。

阪神・淡路大震災で三ツ星ベルトの本社がある神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。歳月が流れるとともに災害に対する当時の記憶は薄れつつあります。しかし、世界中では依然として貧困などによって、年間520万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会に対する寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。

※ユニセフ (UNICEF・・・国際連合児童基金)

We Support



当社は2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」をスローガンに募金活動を実施し、毎年日本ユニセフ協会に寄付を行ってきました。この活動が評価され、紺綬褒状を受章しました。

◆ 社会貢献活動（海外関係会社）

海外関係会社でも「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子供たちへの支援活動を行っています。子どもたちの未来を応援するこの活動は、国内各事業場にとどまらず、海外拠点にも展開しています。また、地域社会との協業による環境保全活動も行っています。

タイでのCSR活動

タイのSTARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITEDは、子供たちへの支援活動を中心にさまざまな活動を行っています。

学校で開催されたこどもの日の活動に参加し、子供たちにゲームや食事を楽しんでもらいました。

2020年1月



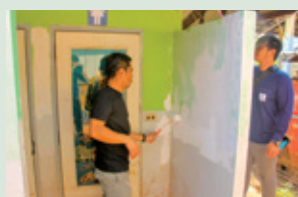
小学校で子供たちにバッグと文具セットなどをプレゼントしました。

2020年7月



小学校の教室や校庭の改修活動

2020年2月



新型コロナウイルス感染拡大における医療活動支援

2020年8月



◆ 防災への取り組み

地域との協力による防災(総合防災訓練)

三ツ星ベルトでは、事業場ごとに毎月一斉防災訓練を行うなど、従業員の災害に対する意識向上を図っています。

阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、消防署の協力を得てスケールアップした総合防災訓練を毎年行っています。訓練は震度6強の地震が発生したことを想定しています。近隣の方々も参加し、避難訓練、負傷者救助訓練、炊き出し訓練を定例訓練として行っています。また、バケツリレー、土嚢積みによる浸水防止訓練、応急担架による負傷者搬送訓練なども行っています。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さまざまなイベントが中止された中で、2021年1月18日に従来の訓練内容を変更し、当社自衛消防隊による消火設備の使用方法和、少人数での放水訓練を実施しました。



◆ コロナ禍における2021年度の活動

地域の小学校との交流

神戸本社では、コロナ禍で昨年に引き続き近隣の神戸市立真野小学校 新1年生の入学をお祝いする会が開催できませんでしたが、地域の一住民として子どもたちの安全を見守るため、新1年生に災害発生時に頭部を保護する防災頭巾を、また子どもたちが安全に通学できるように横断旗を寄贈しました。引き続き、安全で安心な地域社会づくりの推進活動に協力いたします。



神戸市立真野小学校2年生10名が校外学習のため神戸本社に来社されました。製品、建物、社員などに対する多くの質問をいただき、当社への関心の高さをうかがい知ることができました。また当社製品を展示し、実際に手に取ってもらうことで、企業としての「ものづくり」について理解を深めてもらう良い機会になりました。



たなばたまつり

当社事業所のある綾部市から竹笹を提供いただき、神戸本社、名古屋工場、四国工場において、たなばたまつりの笹飾りを2021年7月6日～8日まで3日間設置しました。

新型コロナウイルスの影響により今回は笹飾りのみの実施となったものの、今年度は神戸本社に加えて名古屋工場、四国工場でも、同日程で笹飾りを行いました。例年とイベントの形式は異なりましたが、引き続き、地域交流を深めるため活動を進めてまいります。

【名古屋工場】

名古屋工場では初めてのたなばたまつりでしたが、たくさんの方々が素敵な飾りを作り、色々な短冊が飾られて、夢と希望が高まるイベントとなりました。



【四国工場】

笹飾りを工場の正門近くに設置し、従業員をはじめ、来場者の方々がマスクの着用を徹底いただきました。ソーシャルディスタンスを確保し、笹飾りの下で笑顔で言葉を交わしながら、地域の皆さまとの交流を深めることができました。



【神戸本社】

昨今の厳しい情勢の中、規模は縮小したものの、たくさんの願いを短冊に込めた笹飾りが行われました。「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、地域社会に根差した企業として、引き続き活動を進めてまいります。



竹笹を贈った神戸市立真野小学校の皆さんからのお礼状。

海岸清掃活動(四国工場)

四国工場では、毎年さぬき手打ちうどんと地引網体験会を開催し、地元の方々をはじめ、神戸や綾部からも多くの方々にお越しいただき、イベントを通じた地域同士の交流を進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらず、2021年度も昨年と同様、残念ながら同イベントを中止するという結果となりました。そこで四国工場では、三ツ星ベルトCSR基本方針である『地域社会との連携と強調』とSDGsの目標の一つである『住み続けられる街づくりを』の一環として、工場周辺の美化を図るため、グループ従業員を中心に工場北東(北松原海水浴場)の海岸清掃を2021年5月28日に実施しました。



清掃前の海岸は、雑草や枯草、ゴミが散乱していましたが
清掃活動によって海岸は元の姿を取り戻しました。



プロギングに参加(神戸事業所)

神戸市が主催している「ばい捨て禁止」「路上喫煙禁止」を掲げて活動しているステンスワンプロジェクトが須磨海岸で開催したスポーツイベント「ステンスワンプロギング」に、神戸海さくらの一員として当社社員が参加しました。「プロギング」とは、ごみ拾いとランニングを掛け合わせたスウェーデン発祥のスポーツです。この日は普段のごみ拾いとプロギング参加の二手に分かれて活動を行いました。きれいに見えた海岸も、プロギングと普段のごみ拾いを合わせるとかなりの量のごみになりました。今後も引き続きこのような社会貢献活動に参加していきます。



◆ SDGs社内啓発活動

SDGs社内ポスター発行

当社グループは地球環境に優しい製品づくりや、地域との共生活動を継続し、「'21中期経営計画」で示しているとおり事業活動を通じて社会に貢献できる企業を目指しています。「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、当社グループ従業員がSDGsの理解を深め、取り組みを活性化させるため3種類のポスターを発行し、SDGsの社内啓発を進めています。



SDGs社内啓発講座

当社グループがSDGs活動を推進していくためには、従業員一人ひとりが主体的に取り組んでいくことが重要だと考えています。この考えに基づき、各従業員がSDGsに関する取り組みの重要性を理解し、活動そのものを身近に感じてもらうことを目的として、SDGs啓発講座を繰り返し開催しました。世界が直面している社会的課題、ならびにSDGsの考え方や取り組み事例をできる限り分かりやすく説明し、国内外全拠点に向けて情報を発信しています。

